

7社合同で新入社員研修

プロドライバーを養成



ジェイカス

【兵庫】ジェイカス（加賀沢一社長、兵庫県西宮市）

は4月22日、運送事業者6社と合同で、日本トラックドライバー育成機構（JTDO、酒井誠代表理事）のプロドライバー2級（シルバー）認定講座を受けた。

けた。

各社の新入社員を対象とした研修で、神戸営業所（神戸市東灘区）で実施。JTDOが近畿でドライバー認定講座を行うのは初めて。29、30の

JTDOが近畿でドライバー認定講座を行うのは初めて

両日にも行った。

加賀沢社長は「新任ドライバーの育成は物流企業にとって共通課題の一つ。しかし、中小企業にはノウハウや時間が無く、満足に教育することが難しい。ドライバー認定講座には費用が掛かるものの、希望する事業者が合同で行えば、その分、負担は軽くなる。このような取り組みが業界全体に広まればうれしい」と話した。

運転や荷積み・荷下ろしの技術に加え、社会人としてのマナー、モラルがカリキュラムに含まれているのが特長。JTDOがプロドライバーと定義する「荷主に指名され、荷主に好かれ、荷主に頼られ、同僚ドライバーからも尊敬される」運転者を養成するため、22日

には、車両点検の座学及び実習、インストラクターの佐藤晴美氏によるマナー講座も開かれた。

酒井代表理事は「今まで近畿でのプロドライバー講座は無かったが、加賀沢氏の音頭で、多数の参加者を迎える

ことができた。無事成功せ、輪を広げていきたいと今後の展望を述べた。

（蓮尾輝

物流ニホーン

2017.5.1 (月)